

多治見の緑化樹木



はじめに

豊かな自然とその自然につつまれた美しい格調の高い街づくりを目指して、緑化樹木の選定基準を検討する当委員会は、多治見市の自然の素晴らしさを重視し、郷土を特徴づける樹木たちを活用した緑化を指向する。

日本は古くから大陸や朝鮮半島との交流があり、多くの植物が渡来して来て、すっかり日本従来 of 植物のような顔をしているものもあるが、当委員会は在来種と外来種を便宜上江戸時代までに渡来してきたものを含め「在来種」と見なし、明治以降に渡来したものを「外来種」とした。

緑化樹木を選定するにあたっては「在来種」に限定し「多治見植物の会」編纂の「多治見の植物」に記載されている植物目録の樹木の中から選定した。選定するにあたっては植栽場所44カ所を細かく想定して適材樹種を考えた。また、植栽後の情景やメンテナンスなどには十分な配慮が必要である。

「外来種」について、都市緑化においては素晴らしい景観をつくる十分な役割を果たしており、市民にも受け入れられているので、選定を考えるべきであるとの意見が強く出された。当委員会として「外来種」の果たして来た役割については十分に認識しているが、日本の生態系を守るための問題、即ち、日本固有の植物たちを駆逐してしまいそうな強い自然繁殖力という問題、日本固有の植物と交雑して地域固体群の遺伝子攪乱という問題を考えるとき、慎重にならざるを得ない。

「外来種」及び今回選定されなかった樹木については、新たに委員会を設けて、市民の要望に応えられるように、指摘されている問題が解決されるような科学的な選定を行い、都市緑化事業に導入していくように考える。

選定樹種は非常に市場性に乏しい樹種である。入手には困難が伴うであろうが、妥協することなく本物を入手されたい。それには発注に際して「標準和名」「学名」をもって発注するようにされたい。

植栽に際しては、植栽場所、空間などをよくよく吟味してその樹種固有の美しい樹形を生かした景観になるように、せいぜい整枝程度にして、いやしくも樹形を損なうような剪定はしないようにと、付言する。

当委員会は以上のような考えをふまえて、以下の緑化樹木を選定した。今後、緑化の推進に活用され、環境と共生するまちづくりを進める一助となれば幸いに思う。

平成17年7月25日

多治見市緑化樹木選定基準検討委員会

目 次

はじめに

	大分類	中分類	小分類	
No.1	民有地緑化	個人住宅	垣根	1
No.2	民有地緑化	個人住宅	街並み統一対策	2
No.3	民有地緑化	個人住宅	庭園木	3
No.4	民有地緑化	個人住宅	フェンス	4
No.5	民有地緑化	個人住宅	シンボルツリー	5
No.6	民有地緑化	個人住宅	その他	6
No.7	民有地緑化	商業・工業・製造施設	推奨緑化	7
No.8	民有地緑化	商業・工業・製造施設	駐車場	8
No.9	民有地緑化	商業・工業・製造施設	フェンス	9
No.10	民有地緑化	商業・工業・製造施設	シンボルツリー	10
No.11	民有地緑化	商業・工業・製造施設	その他	11
No.12	公園・緑地		ポケット公園	12
No.13	公園・緑地		児童遊園	13
No.14	公園・緑地		都市公園	14
No.15	公園・緑地		緑地公園	15
No.16	公園・緑地		ビオトープ	16
No.17	公園・緑地		シンボルツリー	17
No.18	公園・緑地		その他	18
No.19	採石場		砕石場(種子)	19
No.20	採石場		その他	20
No.21	開発造成地	造成地	土法面	21
No.22	開発造成地	造成地	コンクリート法面	22
No.23	開発造成地	造成地	残存緑地	23
No.24	開発造成地	造成地	その他	24
No.25	開発造成地	120m以上の開発地	市街地から望む開発地	25
No.26	建物緑化		屋上	26
No.27	建物緑化		壁面	27
No.28	建物緑化		その他	28
No.29	みち	道路	街路樹	29
No.30	みち	道路	中央分離帯	30
No.31	みち	道路	ガードレール	31
No.32	みち	道路	フェンス	32
No.33	みち	道路	土羽法面	33
No.34	みち	道路	ブロック積み法面	34
No.35	みち	道路	コンクリート壁面	35
No.36	みち	道路	歩道	36
No.37	みち	緑道	緑道	37
No.38	公共施設		西日対策壁面	38
No.39	公共施設		砂埃対策	39
No.40	公共施設		中庭対策	40
No.41	公共施設		シンボルツリー	41
No.42	公共施設		その他	42
No.43	山林内土砂崩れ		崩壊地復旧	43
No.44	鉄塔・アンテナ		鉄塔・アンテナ	44

No.	1	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類		垣根			
樹木名					
アセビ アラカシ イヌツゲ イボタノキ ウラジログシ シラカシ ニシキギ ネズミモチ ヒイラギ ヒサカキ マユミ メダケ ヤブツバキ					
委員コメント					
個人住宅の垣根には、景観を形成し、家庭の雰囲気映し、プライバシーを守るといった機能に加え、震災時や火災時における防災機能が期待されている。常緑低木で発芽性・密集性があり、刈り込みに耐えるものを中心に選定した。メンテナンス性も評価に加えた。					

No.	2	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類		街並み統一対策			
樹木名					
アカガシ		マンサク			
アラカシ		ヤブツバキ			
イロハモミジ		ヤブムラサキ			
ウメモドキ		ヤマザクラ			
エドヒガン		ヤマツツジ			
エノキ		ユズリハ			
クサギ					
ケヤキ					
コバノミツバツツジ					
コムラサキ					
サカキ					
シラカシ					
ソヨゴ					
ナツツバキ					
ニシキギ					
委員コメント					
<p>市街地や住宅地では、街並みの美しさが街の顔となり、住む人・訪れる人に快適さを提供する。区画整理事業や開発事業などに際して、新たにできる街並みの統一感を提供する樹木を次の観点から推奨した。</p> <p>実際の植栽時には、地形や植栽面積に応じて選定することが望ましい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人々に親しまれる樹木かどうか ②メンテナンス性 ③植栽マスでの発育性 ④緑陰の多さ ⑤樹形の美しさ 					

No.	3	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類		庭園木			
樹木名					
アオキ	オニグルミ	サカキ	ナツツバキ	マンリョウ	
アオハダ	ガクウツギ	サネカズラ	ナツハゼ	ミツバアケビ	
アカガシ	カジノキ	サワフタギ	ニシキギ	ミヤコザサ	
アカマツ	ガマズミ	サンショウ	ニフトコ	ムシカリ	
アカメガシワ	カマツカ	シキミ	ネジキ	ムベ	
アケビ	カワヤナギ	シャシャンボ	ネズ	メダケ	
アズキナシ	キツタ	シラカシ	ネズミモチ	モチツツジ	
アセビ	キブシ	シロモジ	ネムノキ	ヤツデ	
アベマキ	キリ	スイカズラ	ノイバラ	ヤブコウジ	
アラカシ	クコ	スノキ	ノダフジ	ヤブツバキ	
イヌガヤ	クサギ	ズミ	ノブドウ	ヤブデマリ	
イヌザクラ	クサボケ	ソヨゴ	ノリウツギ	ヤブニッケイ	
イヌツゲ	クロモジ	タニウツギ	バイカツツジ	ヤブムラサキ	
イボタノキ	ケヤキ	タラヨウ	ハナイカダ	ヤマアジサイ	
イロハモミジ	ケンポナシ	タンナサワフタギ	ハリギリ	ヤマウグイスカグラ	
ウスノキ	コアジサイ	ツクバネ	ハンノキ	ヤマザクラ	
ウツギ	コクサギ	ツクバネウツギ	ヒイラギ	ヤマツツジ	
ウメモドキ	コシアブラ	ツクバネガシ	ヒカゲツツジ	ヤマブキ	
ウラジロガシ	コツクバネウツギ	ツタ	ヒサカキ	ヤマフジ	
ウラジロノキ	コナラ	ツブラジイ	ヒメウツギ	ユズリハ	
ウリカエデ	コバノガマズミ	ツリバナ	ホオノキ	リョウブ	
ウワミズザクラ	コバノミツバツツジ	ツルウメモドキ	ホツツジ		
エゴノキ	コマユミ	ツルグミ	マユミ		
エドヒガン	コムラサキ	テイカカズラ	マルバアオダモ		
エノキ	ザイフリボク	ナツグミ	マンサク		
委員コメント					
<p>個人住宅での庭造りなので、個性的で必要に応じた庭園を造っていただければよいのだが、できることならば、和風・洋風を問わず地域の植生に配慮した樹木からの選定をして頂きたい。天然記念物的なものは避けた。</p> <p>季節感の演出が可能で、樹形・木肌が美しい樹木を推奨した。また、メンテナンスが容易で、病虫害の被害が少ないものを選定した。</p> <p>また、住宅地では樹高による日照障害、根株の基礎への浸食、隣地への落葉等への配慮が必要である。</p>					

No.	4	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類	フェンス				
樹木名					
アケビ キツタ サネカズラ スイカズラ ツルウメモドキ ツルグミ テイカカズラ ノイバラ ノダフジ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
<p>住宅地でのフェンスは安全性の配慮はもとより、人の出入りを遮るためだけではなく、景観を形成し、家庭の雰囲気映し、プライバシーを守るといった機能が期待されている。そこで、ツル性樹木を中心に検討した。季節感やメンテナンス性にも配慮したい。</p> <p>また、ブロック塀・コンクリート壁にも応用可能である。</p>					

No.	5	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類		シンボルツリー			
樹木名					
アカガシ		ナツツバキ			
アカマツ		ネムノキ			
アズキナシ		マンサク			
アベマキ		ヤブツバキ			
アラカシ		ヤマザクラ			
イロハモミジ		ユズリハ			
ウラジロガシ					
エゴノキ					
エドヒガン					
エノキ					
ケヤキ					
コナラ					
ザイフリボク					
シラカシ					
ツブラジイ					
委員コメント					
<p>個人住宅敷地内でのシンボルツリーは、中高木で樹形・木肌が美しい樹木を推奨した。花の美しさや結実の有無といった四季感の演出も評価した。単独植栽でも美しいものであってほしい。</p> <p>実際の植栽時には植栽空間に配慮し、シンボルとなりうる植栽方法が併せて施されることが肝要である。</p> <p>また、住宅地では樹高による日照障害、根株の基礎への浸食、隣地への落葉等への配慮が必要である。</p>					

No.	6	大分類	民有地緑化	中分類	個人住宅
小分類	その他				
樹木名					
アケビ エビヅル キツタ サネカズラ スイカズラ ツタ ツルグミ テイカカズラ ノダフジ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
壁面緑化や屋上緑化を念頭に、乾燥に耐えるツル性樹木を中心に選定した。これらはカーポートやベランダなどの構造物に応用できる。 また、植栽帯のグラウンドカバーにも使える樹種も含まれている。 実際の植栽時には、将来的にうっそうとしないように心がける必要がある。					

No.	7	大分類	民有地緑化	中分類	商業・工業・製造施設
小分類	推奨緑地				
樹木名					
アオキ	ガクウツギ	コマユミ	ナツツバキ	マンリョウ	
アオハダ	カジノキ	コムラサキ	ナツハゼ	ミヤコザサ	
アカガシ	カナクギノキ	ゴンズイ	ナワシロイチゴ	ミヤマフユイチゴ	
アカマツ	ガマズミ	ザイフリボク	ニシキギ	ムシカリ	
アズキナシ	カマツカ	サカキ	ニワトコ	メダケ	
アセビ	カラスザンショウ	サワグルミ	ネジキ	モチツツジ	
アブラチャン	カワヤナギ	サワフタギ	ネズ	モミジイチゴ	
アベマキ	ガンピ	サンショウ	ネズミモチ	ヤツデ	
アラカシ	キブシ	シキミ	ネムノキ	ヤブコウジ	
イヌザクラ	キリ	シャシャンボ	ノイバラ	ヤブツバキ	
イヌザンショウ	クコ	シラカシ	ノリウツギ	ヤブデマリ	
イヌツゲ	クサイチゴ	シロモジ	バイカツツジ	ヤブニッケイ	
イボタノキ	クサギ	スノキ	ハナイカダ	ヤブムラサキ	
イロハモミジ	クサボケ	ズミ	ハリギリ	ヤマアジサイ	
ウスノキ	クマイチゴ	ソヨゴ	ヒイラギ	ヤマウグイスカグラ	
ウツギ	クロモジ	タカノツメ	ヒカゲツツジ	ヤマウコギ	
ウメモドキ	ケヤキ	タニウツギ	ヒサカキ	ヤマザクラ	
ウラジロガシ	ケンポナシ	タラノキ	ヒメウツギ	ヤマツツジ	
ウラジロノキ	コアジサイ	タラヨウ	ビロードイチゴ	ヤマナラシ	
ウリカエデ	コクサギ	タンナサワフタギ	フユイチゴ	ヤマブキ	
ウワミズザクラ	コシアブラ	ツクバネウツギ	ヘビノボラズ	ユズリハ	
エゴノキ	コジキイチゴ	ツクバネガシ	ホオノキ	リョウブ	
エドヒガン	コツクバネウツギ	ツブラジイ	ホツツジ		
エノキ	コナラ	ツリバナ	マユミ		
エビガライチゴ	コバノガマズミ	ツルウメモドキ	マルバアオダモ		
オニグルミ	コバノミツバツツジ	ナツグミ	マンサク		
委員コメント					
<p>オフィスビルや工場、大型店舗などは、企業イメージの向上を目指した緑化を施す。なかでも、車止めやロータリー、敷地内園路を想定して選定した。</p> <p>花の美しい低木と防音対策の高木を中心に推奨したい。緑陰の多さも評価した。</p> <p>実際の植栽時には、できるだけ多治見らしい景観を考慮していただきたい。ある種の庭園築造に似た応用技術が必要であろう。</p>					

No.	8	大分類	民有地緑化	中分類	商業・工業・製造施設
小分類	駐車場				
樹木名					
<p>アカガシ アラカシ イロハモミジ ウラジログシ コナラ シャシャンボ シラカシ ソヨゴ タラヨウ ツクバネガシ ツブラジイ ナツツバキ ヤブツバキ ユズリハ</p>					
委員コメント					
<p>民間の駐車場では、アスファルト舗装や砕石敷き詰めが一般的である。これが夏場の高温化を引き起こしている。車内の高温化を防止するためにも、樹形が傘状となる高木の樹木を中心に選定した。</p> <p>また、乾燥・耐熱性を評価しながら、低木やツル性樹木も植栽可能であると考えた。</p> <p>実際の植栽時には、将来的に車体の損傷が発生しないかを十分に留意されたい。</p>					

No.	9	大分類	民有地緑化	中分類	商業・工業・製造施設
小分類		フェンス			
樹木名					
<p>アケビ ヤマフジ</p> <p>イワガラミ</p> <p>エビヅル</p> <p>キヅタ</p> <p>サネカズラ</p> <p>スイカズラ</p> <p>ツタ</p> <p>ツルウメモドキ</p> <p>ツルグミ</p> <p>テイカカズラ</p> <p>ノイバラ</p> <p>ノブドウ</p> <p>マタタビ</p> <p>ミツバアケビ</p> <p>ムベ</p>					
委員コメント					
<p>敷地境にフェンスを設置してある民間施設を多く見かける。無機的になりがちなフェンスをツル性樹木などで緑化することにより、個性的で潤いのある施設へとなるだろう。季節感など、視覚的な美しさも評価した。</p> <p>お客様や従業員、自動車が脇を通るフェンスであるから、定期的な剪定は必要である。</p>					

No.	10	大分類	民有地緑化	中分類	商業・工業・製造施設
小分類		シンボルツリー			
樹木名					
アカマツ アズキナシ アベマキ アラカシ イロハモミジ ウラジロガシ エドヒガン エノキ ケヤキ コナラ ザイフリボク シラカシ ツブラジイ ナツツバキ ハリギリ ホオノキ ヤブツバキ ヤマザクラ ユズリハ					
委員コメント					
<p>工場や大型ショッピングセンターでのシンボルツリーは、企業の顔として相応しく、広い空間に育ち、維持管理が簡便な樹木を選定した。視覚的な美しさと特別な存在感を念頭に、シンボルとなり得る植栽方法が期待される。</p> <p>中高木から高木となるもので、樹形・木肌の美しさを重視した。また、花や実の美しさも評価に入れた。</p>					

No.	11	大分類	民有地緑化	中分類	商業・工業・製造施設
小分類		その他			
樹木名					
アケビ エビヅル キツタ サネカズラ スイカズラ テイカカズラ ノダフジ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
<p>スーパーマーケットの駐輪場や室外機などの屋外付属施設を念頭に、グラウンドカバーとなるツル性樹木を中心に選定した。</p> <p>また、野外の休憩所の日陰対策への応用も想定している。</p>					

No.	12	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		ポケット公園			
樹木名					
アオキ	エドヒガン	スノキ	ヒイラギ	ヤブムラサキ	
アオハダ	エノキ	ソヨゴ	ヒサカキ	ヤマツツジ	
アカガシ	カワヤナギ	タニウツギ	ヒメウツギ	ヤマハゼ	
アケビ	キブシ	タラヨウ	ホツツジ	ヤマブキ	
アセビ	クコ	ツリバナ	マタタビ	ヤマフジ	
アベマキ	クサイチゴ	ツルウメモドキ	マユミ	ユズリハ	
アラカシ	クサボケ	ナツグミ	マンサク	リョウブ	
イヌツゲ	ケヤキ	ナツツバキ	ミツバアケビ		
イボタノキ	コナラ	ナツハゼ	ミヤコザサ		
イロハモミジ	コバノミツバツツジ	ニシキギ	ムベ		
ウスノキ	コマユミ	ニワトコ	メダケ		
ウツギ	コムラサキ	ネジキ	モチツツジ		
ウメモドキ	ザイフリボク	ネズミモチ	ヤツデ		
ウラジロガシ	シャシャンボ	ネムノキ	ヤブコウジ		
ウリカエデ	シラカシ	ノリウツギ	ヤブデマリ		
委員コメント					
<p>小規模な空き地を利用して築造される公園である。規模や立地を勘案して樹種を選定すべきである。従って、矮小であれば低木中心の植栽、道路脇であれば街路樹的に考えて高木の植栽も可能である。乾燥や熱に耐え、緑陰を多くつくるものが望ましい。</p> <p>市民の身近な緑空間であることから、四季感の感じられる樹種を評価した。</p> <p>市街地に整備されることを考えると、維持管理を容易にすることも肝要である。従って、ツル性樹木でグラウンドカバーするなどの手法も有効であろう。</p>					

No.	13	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		児童遊園			
樹木名					
アオキ	エノキ	コマユミ	ツルウメモドキ	メダケ	
アカガシ	オニグルミ	コムラサキ	ナツグミ	モチツツジ	
アカマツ	カジノキ	ザイフリボク	ナツツバキ	ヤツデ	
アケビ	ガマズミ	サカキ	ナツハゼ	ヤブコウジ	
アズキナシ	カマツカ	サワフタギ	ニシキギ	ヤブツバキ	
アセビ	キブシ	シャシャンボ	ニワトコ	ヤブデマリ	
アベマキ	キリ	シラカシ	ネジキ	ヤブニッケイ	
アラカシ	クコ	シロモジ	ネズミモチ	ヤブムラサキ	
イヌガヤ	クサイチゴ	スノキ	ネムノキ	ヤマザクラ	
イヌツゲ	クサボケ	ズミ	ノダフジ	ヤマツツジ	
イボタノキ	クワ	ソヨゴ	ノリウツギ	ヤマブキ	
イロハモミジ	ケヤキ	タニウツギ	ヒメウツギ	ヤマフジ	
ウスノキ	ケンポナシ	タラヨウ	ホツツジ	ユズリハ	
ウツギ	コシアブラ	タンナサワフタギ	マタタビ	リョウブ	
ウメモドキ	コックバネウツギ	ツクバネウツギ	マユミ		
ウラジロガシ	コナラ	ツクバネガシ	マンリョウ		
ウリカエデ	コバノガマズミ	ツブラジイ	ミツバアケビ		
エドヒガン	コバノミツバツツジ	ツリバナ	ムベ		
委員コメント					
<p>児童遊園とは子どもの健康や情操を育む施設である。法的には公園とは異なり、100坪以上の敷地に遊具などを設置するなどの多くのルールが定められている。多治見市内には100箇所以上が整備されている。</p> <p>最優先に考えるべきは、子どもたちが遊びまわっても害にない樹木であることである。そして、子どもたちの思い出に残り、季節ごとに様々な姿を見せる樹種であることが望ましい。シンボルツリーを併せて植栽することも期待したい。また、高木は安全対策のために、子どもの目線より上に枝が広がるものを選定した。</p> <p>植栽方法としては、日陰対策の高木とかくれんぼ等ができる低木の植栽が考えられる。また、敷地境界に設置してあるフェンスを利用し、食べられる実のなるツル性樹木の植栽や鳥や虫が集まる樹木もおもしろい。</p>					

No.	14	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類	都市公園				
樹木名					
アオキ	オニグルミ	ザイフリボク	テイカカズラ	マユミ	
アカガシ	カジノキ	サカキ	ナツグミ	マンリョウ	
アカマツ	カナクギノキ	サワグルミ	ナツツバキ	ミツバアケビ	
アケビ	ガマズミ	サワフタギ	ナツハゼ	ミヤコザサ	
アズキナシ	カマツカ	サンショウ	ナワシロイチゴ	ムベ	
アセビ	カラスザンショウ	シャシャンボ	ニガイチゴ	メダケ	
アベマキ	キツタ	シラカシ	ニシキギ	モチツツジ	
アラカシ	キブシ	シロモジ	ニワトコ	ヤツデ	
イヌガヤ	キリ	スイカズラ	ネジキ	ヤブコウジ	
イヌコリヤナギ	クコ	スノキ	ネズ	ヤブツバキ	
イヌツゲ	クサイチゴ	ズミ	ネズミモチ	ヤブデマリ	
イボタノキ	クサギ	ソヨゴ	ネムノキ	ヤブニッケイ	
イロハモミジ	クサボケ	タカノツメ	ノダフジ	ヤブムラサキ	
ウスノキ	クリ	タニウツギ	ノブドウ	ヤマザクラ	
ウツギ	ケヤキ	タラノキ	ノリウツギ	ヤマツツジ	
ウメモドキ	ケンポナシ	タラヨウ	バイカツツジ	ヤマハゼ	
ウラジロガシ	コシアブラ	タンナサワフタギ	ハリギリ	ヤマブキ	
ウラジロノキ	コックバネウツギ	ツクバネウツギ	ハンノキ	ヤマフジ	
ウリカエデ	コナラ	ツクバネガシ	ヒイラギ	ユズリハ	
エゴノキ	コバノガマズミ	ツタ	ヒメウツギ	リョウブ	
エドヒガン	コバノミツバツツジ	ツブラジイ	ホオノキ		
エノキ	コマユミ	ツリバナ	ホツツジ		
エビガライチゴ	コムラサキ	ツルウメモドキ	マタタビ		
委員コメント					
<p>市民にとって公園は、休息、鑑賞、運動などの屋外レクリエーションの場として欠くことのできない施設である。さらに、災害時には避難場所となるなど、非常に重要な施設である。</p> <p>それ故に、維持管理も必要であり、庭園ではなく防火樹機能を有することも求められる。多様な樹木の植栽を心がけながら、雑多にならないように注意して選定した。特に、山林回復ではないので、山中に生える木は生育困難と思われる。長寿で丈夫な樹種であることも評価した。</p> <p>また、調達が簡便であることも評価した。</p>					

No.	15	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		緑地公園			
樹木名					
アオキ	カジノキ	サネカズラ	ニガイチゴ	ミツバアケビ	
アオハダ	カナクギノキ	サワグルミ	ニシキギ	ミヤコザサ	
アカガシ	ガマズミ	サワフタギ	ニワトコ	ミヤマシキミ	
アカメガシワ	カマツカ	サンカクヅル	ヌルデ	ムシカリ	
アケビ	カラスザンショウ	サンショウ	ネジキ	ムベ	
アズキナシ	カワヤナギ	シキミ	ネズ	メダケ	
アセビ	キツタ	シャシャンボ	ネズミモチ	モチツツジ	
アベマキ	キブシ	シラカシ	ネムノキ	モミジイチゴ	
アラカシ	クコ	シロモジ	ノダフジ	ヤツデ	
イヌガヤ	クサイチゴ	スイカズラ	ノブドウ	ヤブコウジ	
イヌコリヤナギ	クサギ	スノキ	ノリウツギ	ヤブツバキ	
イヌザクラ	クサボケ	ズミ	バйкаツツジ	ヤブデマリ	
イヌツゲ	クマイチゴ	ソヨゴ	ハナイカダ	ヤブニッケイ	
イボタノキ	クリ	タカノツメ	ハリギリ	ヤブムラサキ	
イロハモミジ	クロモジ	タニウツギ	ハンノキ	ヤマアジサイ	
ウスノキ	ケヤキ	タラノキ	ヒイラギ	ヤマウグイスカグラ	
ウツギ	ケンポナシ	タラヨウ	ヒカゲツツジ	ヤマザクラ	
ウメモドキ	コアジサイ	タンナサワフタギ	ヒサカキ	ヤマツツジ	
ウラジロガシ	コクサギ	ツクバネ	ヒメウツギ	ヤマナラシ	
ウラジロノキ	コシアブラ	ツクバネウツギ	ヒメコウゾ	ヤマハゼ	
ウリカエデ	コツクバネウツギ	ツクバネガシ	フユイチゴ	ヤマブキ	
ウワミズザクラ	コナラ	ツブラジイ	ホオノキ	ヤマフジ	
エゴノキ	コバノガマズミ	ツリバナ	ホツツジ	ユズリハ	
エドヒガン	コバノミツバツツジ	ツルウメモドキ	マタタビ	リョウブ	
エノキ	コマユミ	テイカカズラ	マユミ		
エビヅル	コムラサキ	ナツグミ	マルバアオダモ		
オニグルミ	ザイフリボク	ナツツバキ	マンサク		
ガクウツギ	サカキ	ナツハゼ	マンリョウ		
委員コメント					
<p>緑地公園は自然の地形を活かし、山林の自然を楽しみ憩う公園である。春の芽吹き、花の繚乱、秋の紅葉・黄葉が楽しめる工夫が望まれる。</p> <p>また、昭和初期～中期にかけてほとんどの樹木が伐採された上、スギ・ヒノキが植林されたままとなっている山林を多様で豊かな生態へと再生するという側面もある。地域特性に合わせて生態系を考慮した多様な樹種を選択することが肝要である。</p>					

No.	16	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		ビオトープ			
樹木名					
アオキ	エゴノキ	ケヤキ	ツクバネガシ	ヘビノボラズ	
アオハダ	エノキ	ケンボナシ	ツブラジイ	マタタビ	
アカガシ	エビガライチゴ	コクサギ	ツルウメモドキ	マンリョウ	
アセビ	オニグルミ	コナラ	テイカカズラ	ミヤコザサ	
アブラチャン	ガクウツギ	コバノガマズミ	ナツグミ	ムベ	
アベマキ	カナクギノキ	コムラサキ	ナツハゼ	メダケ	
アラカシ	カラスザンショウ	サクラバハンノキ	ニガイチゴ	モミジイチゴ	
イソノキ	カワヤナギ	サワグルミ	ニシキギ	ヤツデ	
イヌガヤ	キブシ	サンショウ	ネジキ	ヤブコウジ	
イヌコリヤナギ	クコ	シデコブシ	ネムノキ	ヤブツバキ	
イヌザクラ	クサイチゴ	シャシャンボ	ノイバラ	ヤブデマリ	
イヌザンショウ	クサギ	シラカシ	ノリウツギ	ヤブムラサキ	
イヌツゲ	クサボケ	シロモジ	ハナイカダ	ヤマアジサイ	
イロハモミジ	クマイチゴ	ズミ	ハナノキ	ヤマナラシ	
ウツギ	クリ	ソヨゴ	ハンノキ	ヤマハゼ	
ウメモドキ	クロミノニシゴリ	タカノツメ	ヒメコウゾ	ヤマブキ	
ウラジロガシ	クワ	ツクバネ	フユイチゴ	リョウブ	
委員コメント					
<p>ビオトープは「生物の住むひとまとまりの空間」であり、環境教育、自然体験の場、地域の自然環境の保全など多くの機能が期待される場である。ここでは、公園づくりの中で期待される水辺のビオトープに限って樹木の選定を行った。よって、湿地周辺に自生しているなど、水を好む湿地性樹木を中心に選定した。</p> <p>また、小鳥や小動物の生息などへの配慮も必要であろう。</p>					

No.	17	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		シンボルツリー			
樹木名					
<p>アベマキ ユズリハ</p> <p>アラカシ</p> <p>イロハモミジ</p> <p>ウラジログシ</p> <p>ウワミズザクラ</p> <p>エゴノキ</p> <p>エドヒガン</p> <p>エノキ</p> <p>ケヤキ</p> <p>コナラ</p> <p>シラカシ</p> <p>ズミ</p> <p>ツブラジイ</p> <p>ホオノキ</p> <p>ヤマザクラ</p>					
委員コメント					
<p>公園・緑地でのシンボルツリーは、のびやかに育つ樹木を選定した。公共の緑地に求められる、人のための空間に必要な視覚的な美しさと特別な存在感を念頭に、シンボルとなり得る樹木が相応しいと思われる。</p> <p>中高木から高木となるもので、樹形・木肌の美しさを重視した。また、花の美しさも評価に入れた。</p> <p>また、実際の植栽時には、将来の地域性も考慮した樹種の選定がなされるよう期待する。</p>					

No.	18	大分類	公園・緑地	中分類	—
小分類		その他			
樹木名					
ノダフジ ノブドウ					
委員コメント					
公園内の緑化のうち、ベンチの上の棚（パーゴラ）などを想定して樹木を選定した。 日よけとしての効果と、公園で座って過ごす時間を癒しのひとときとして頂けるような植栽が期待される。					

No.	19	大分類	採石場	中分類	—
小分類		碎石場(種子)			
樹木名					
アカマツ イヌツゲ ウリカエデ タラノキ ネズ ハンノキ ヒメヤシャブシ ミヤコザサ ヤシャブシ ヤマウコギ ヤマハンノキ					
委員コメント					
<p>多治見の気温の上昇化現象は、碎石場を抜きには考えられない。岩石等の採取終了地に乾燥地を好む樹木の種を吹きつけ(もしくは散布)をすることにより、可及的速やかに山林回復させることが肝要である。</p> <p>また、育成した樹木から種が落ち、再び発芽するというサイクルを生み出すためには、痩せた土地でも育ちやすい樹木を念頭に置いた。また、将来は肥培木(肥料木)となる樹木であることも評価した。</p> <p>実際の吹きつけ種には、近隣の植生に配慮されたい。</p>					

No.	20	大分類	採石場	中分類	—
小分類		その他			
樹木名					
アカマツ アカメガシワ アズキナシ アセビ イヌツゲ ウリカエデ ゴンズイ シャシャンボ テイカカズラ ナツハゼ ネジキ ネズ ヒメヤシャブシ モチツツジ ヤシャブシ					
委員コメント					
露天掘り採石場などの掘削終了後、原状復帰の義務がある。埋め戻しされた瘦せた土壌でも育成可能な樹木を選定した。					

No.	21	大分類	開発造成地	中分類	造成地
小分類		土法面			
樹木名					
アカマツ	ケヤキ	ナツグミ	マユミ		
アカメガシワ	ケンポナシ	ナツツバキ	ミツバアケビ		
アケビ	コナラ	ナツハゼ	ミヤコザサ		
アズキナシ	コバノミツバツツジ	ニガイチゴ	ムベ		
アセビ	コマユミ	ニシキギ	モチツツジ		
アブラチャン	ゴンズイ	ニワトコ	ヤシャブシ		
アベマキ	サカキ	ヌルデ	ヤブツバキ		
イヌツゲ	サネカズラ	ネジキ	ヤブデマリ		
イロハモミジ	シャシャンボ	ネズ	ヤブニッケイ		
ウスノキ	シロモジ	ノイバラ	ヤマツツジ		
ウリカエデ	スイカズラ	ノブドウ	ヤマハゼ		
エノキ	スノキ	ハリギリ	ヤマハンノキ		
エビヅル	タニウツギ	ハンノキ	ヤマフジ		
キツタ	ツクバネ	ヒサカキ	ユズリハ		
キブシ	ツタ	ヒメヤシャブシ	リョウブ		
クロモジ	テイカカズラ	マタタビ			
委員コメント					
<p>造成地の法面は、切土・盛土のいずれにせよ表土が失われた状態となっている。こうした土壌でも育成しやすく、将来的な保水能力の回復が見込まれる樹木を選出した。</p> <p>選定にあたっては、低木～中木を中心として、繁殖性と耐乾燥性に配慮した。また、将来は肥培木(肥料木)となる樹木であることも評価した。</p> <p>また、造成地を念頭に、季節感の演出も考慮した。</p>					

No.	22	大分類	開発造成地	中分類	造成地
小分類		コンクリート法面			
樹木名					
アケビ エビヅル キツタ サネカズラ サンカクヅル スイカズラ ツタ ツルグミ テイカカズラ ナワシロイチゴ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
<p>開発地の切土法面には、コンクリートブロック積みやコンクリート壁による崩壊防止の処理がされており、緑化への配慮はあまりされていないのが現状である。</p> <p>こうした法面では、ツル性樹木植栽によるコンクリートを覆う緑化により、良好な景観形成と高温化対策を兼ねる機能が期待される。根系の発達が旺盛なものが必要であろう。</p> <p>また、今後のブロック積み法面施工に際しては、植栽マスを同時施行することが望ましい。</p> <p>大規模な緑化ではないが、こうした細やかな緑地の形成が造成地の雰囲気大きく変える要素ともなるので、積極的な緑化を期待したい。</p>					

No.	23	大分類	開発造成地	中分類	造成地
小分類		残存緑地			
樹木名					
アオキ	オニグルミ	コムラサキ	ナワシロイチゴ	マンサク	
アオハダ	ガクウツギ	ゴンズイ	ニガイチゴ	マンリョウ	
アカガシ	カジノキ	ザイフリボク	ニシキギ	ミヤコザサ	
アカマツ	カナクギノキ	サカキ	ニワトコ	ムシカリ	
アカメガシワ	ガマズミ	サワグルミ	ヌルデ	ムベ	
アケビ	カマツカ	サワフタギ	ネジキ	メダケ	
アズキナシ	カラスザンショウ	サンショウ	ネズ	モチツツジ	
アセビ	ガンピ	シキミ	ネズミモチ	モミジイチゴ	
アブラチャン	キブシ	シャシャンボ	ネムノキ	ヤシャブシ	
アベマキ	キリ	シラカシ	ノイバラ	ヤツデ	
アラカシ	クコ	シロモジ	ノリウツギ	ヤブコウジ	
イヌガヤ	クサイチゴ	スノキ	バйкаツツジ	ヤブツバキ	
イヌコリヤナギ	クサギ	ズミ	ハナイカダ	ヤブデマリ	
イヌザクラ	クサボケ	ソヨゴ	ハリギリ	ヤブニッケイ	
イヌザンショウ	クマイチゴ	タカノツメ	ハンノキ	ヤブムラサキ	
イヌツゲ	クリ	タニウツギ	ヒイラギ	ヤマアジサイ	
イボタノキ	クロモジ	タラノキ	ヒカゲツツジ	ヤマウグイスカグラ	
イロハモミジ	クワ	タラヨウ	ヒサカキ	ヤマウコギ	
ウスノキ	ケヤキ	タンナサワフタギ	ヒメウツギ	ヤマザクラ	
ウツギ	ケンポナシ	ツクバネ	ヒメコウゾ	ヤマツツジ	
ウメモドキ	コアジサイ	ツクバネウツギ	ヒメヤシャブシ	ヤマナラシ	
ウラジロガシ	コクサギ	ツクバネガシ	ビロードイチゴ	ヤマハゼ	
ウラジロノキ	コシアブラ	ツブラジイ	フユイチゴ	ヤマハンノキ	
ウリカエデ	コジキイチゴ	ツリバナ	ヘビノボラズ	ヤマブキ	
ウワミズザクラ	コクバネウツギ	ツルウメモドキ	ホオノキ	ヤマフジ	
エゴノキ	コナラ	ツルグミ	ホツツジ	ユズリハ	
エドヒガン	コバノガマズミ	ナツグミ	マタタビ	リョウブ	
エノキ	コバノミツバツツジ	ナツツバキ	マユミ		
エビガライチゴ	コマユミ	ナツハゼ	マルバアオダモ		
委員コメント					
<p>丘陵地において大規模な開発が行われる場合、都市計画法と森林法によって、一定規模の緑地(林地)を残す必要がある。こうした緑地の復旧策等を念頭に樹木の選定を行った。</p> <p>周辺地域に自生している樹木であり、山林の早期回復が見込まれる樹木を選定した。</p> <p>実際の植栽時には、近隣の植生を配慮した植栽をすべきである。</p>					

No.	24	大分類	開発造成地	中分類	造成地
小分類		その他			
樹木名					
アケビ		ネジキ			
アセビ		ノブドウ			
イヌツゲ		マタタビ			
エビヅル		ミツバアケビ			
キツタ		ムベ			
ゴンズイ		ヤマフジ			
サネカズラ					
シャシャンボ					
シロモジ					
スイカズラ					
ツタ					
ツルグミ					
テイカカズラ					
ナツハゼ					
ニガイチゴ					
委員コメント					
<p>開発造成地における緑化の手法として、法面や残存緑地とは別に、フェンスや石垣などの緑化を想定して樹木を選定した。</p> <p>フェンスでのツル性樹木の植栽や低木による植栽が考えられる。</p> <p>大規模な緑化ではないが、こうした細やかな緑地の形成が造成地の雰囲気大きく変える要素ともなるので、季節感やメンテナンス性にも配慮した。</p>					

No.	25	大分類	開発造成地	中分類	120m 以上の開発地
小分類		市街地から望む開発地			
樹木名					
アオハダ	エノキ	シロモジ	ハンノキ		
アカガシ	オニグルミ	スノキ	ホオノキ		
アカマツ	カナクギノキ	ズミ	マユミ		
アブラチャン	カラスザンショウ	ソヨゴ	マルバアオダモ		
アベマキ	キリ	タカノツメ	マンサク		
アラカシ	クリ	タラノキ	ヤブツバキ		
イヌザクラ	クロモジ	タラヨウ	ヤブニッケイ		
イロハモミジ	ケヤキ	タンナサワフタギ	ヤマザクラ		
ウスノキ	コシアブラ	ツクバネガシ	ヤマハゼ		
ウメモドキ	コナラ	ツブラジイ	ユズリハ		
ウラジロガシ	ザイフリボク	ナツツバキ	リョウブ		
ウリカエデ	サカキ	ナツハゼ			
ウワミズザクラ	サワフタギ	ヌルデ			
エゴノキ	シャシャンボ	ネズ			
エドヒガン	シラカシ	ハリギリ			
委員コメント					
<p>多治見市の大部分は、土岐川の河岸段丘に囲まれる盆地地形である。土岐川の水面が概ね標高 100m であり、人口が集中する市街地は標高 120m 線とほぼ一致する。ことから、盆地のふるさと風景を形成する丘陵地＝標高 120m 以上の地域での開発行為については、緑化が義務づけられている。</p> <p>ここでの緑化は、主に盆地から構造物が目立たなくするブラインド効果が期待される。よって、広葉樹を主体とした常緑樹と落葉樹の混植を施し、高木で樹形が美しい樹木の植栽が期待される。また、可能な施設にはツル性樹木による壁面緑化による効果も求められる。</p> <p>実際の植栽については、近隣の植生状況や日当たり、土壌の状態等を勘案すべきである。</p>					

No.	26	大分類	建物緑化	中分類	—
小分類		屋上			
樹木名					
アオキ	タラヨウ	ヤブコウジ			
アカガシ	ツクバネガシ	ヤマフジ			
アケビ	ツタ				
アラカシ	ツブラジイ				
イヌガヤ	ツルウメモドキ				
イヌツゲ	テイカカズラ				
ウメモドキ	ネズミモチ				
ウラジロガシ	ネムノキ				
キツタ	ノイバラ				
クサボケ	ノダフジ				
サネカズラ	ノブドウ				
シャシャンボ	ヒイラギ				
シラカシ	ヒメウツギ				
スイカズラ	マンリョウ				
ソヨゴ	ムベ				
委員コメント					
<p>建物緑化のうち、屋上緑化は室内の高温化防止に非常に効果が高い。また、ビルであれば利用者の憩いのスペース等になり得る。</p> <p>樹木による屋上緑化の手法は大きく分けて、①ツル性樹木や低木を保水素材に植栽する、②中高木を用いて屋上庭園風に植栽するという方法が考えられる。何れにせよ、建築物の重量耐性を考慮に入れて検討して頂きたい。</p> <p>推奨樹木には、乾燥や熱に強く、強風時にも被害が最小限となるように選定した。</p>					

No.	27	大分類	建物緑化	中分類	—
小分類		壁面			
樹木名					
<p>アケビ ヤマフジ</p> <p>アズキナシ</p> <p>キツタ</p> <p>ケンポナシ</p> <p>サネカズラ</p> <p>スイカズラ</p> <p>ツタ</p> <p>ツルウメモドキ</p> <p>テイカカズラ</p> <p>ナツグミ</p> <p>ノイバラ</p> <p>ノダフジ</p> <p>ノブドウ</p> <p>ミツバアケビ</p> <p>ムベ</p>					
委員コメント					
<p>一般的な住宅やビルの壁面への緑化を施し、冷房効率の向上やデザイン上のアクセントとなることが期待される。</p> <p>ツル性樹木を植栽するものとして選定した。中には2階部分までは育成しないものもあるので、実際の植栽時にはどの程度育成するものなのかを考慮して利用して頂きたい。</p> <p>なお、植栽後のメンテナンスは比較的容易なものを選定した。</p>					

No.	28	大分類	建物緑化	中分類	—
小分類		その他			
樹木名					
<p>アケビ キツタ サネカズラ スイカズラ ツタ ツルウメモドキ テイカカズラ ノダフジ ノブドウ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ</p>					
委員コメント					
<p>建物への緑化のうち、壁面や屋根以外に考えられる構造物への緑化を想定した。つまり、住宅ならカーポートや物置、ベランダといった部分。ビルや公共施設であれば、駐輪場やピロティといった構造物である。</p> <p>緑化の手法としてはツル性樹木を植栽し、蓄熱・放熱の効率化を図ることが期待される。</p> <p>育成によって構造物のメンテナンスの妨げにならないように、植栽箇所には配慮されたい。</p>					

No.	29	大分類	みち	中分類	道路
小分類		街路樹			
樹木名					
アオハダ		ナツツバキ			
アカガシ		ニシキギ			
アラカシ		ネムノキ			
イロハモミジ		ホオノキ			
ウラジログシ		ヤマザクラ			
エゴノキ		ユズリハ			
エドヒガン					
エノキ					
オニグルミ					
ケヤキ					
シラカシ					
ソヨゴ					
タラヨウ					
ツクバネガシ					
ツブラジイ					
委員コメント					
<p>街路樹は街並みの演出や、歩行者・近隣居住者の安全等に配慮が必要である。</p> <p>歩道幅の狭い所は通行人の妨げにならない樹木で検討し、交通標識が隠れないような樹形であることも考慮した。</p> <p>また、季節感の演出や緑陰の形成も評価した。</p> <p>将来的なメンテナンスも展望して、乾燥・熱・排気ガスに耐えうるものを選定した。</p> <p>近隣に住む市民の合意をとり、水やり落葉対策などの維持管理協力が得られるよう配慮されたい。</p>					

No.	30	大分類	みち	中分類	道路
小分類		中央分離帯			
樹木名					
アオキ		ネズミモチ			
アケビ		ノイバラ			
アセビ		ノダフジ			
イヌツゲ		ノブドウ			
イボタノキ		ヒイラギ			
イロハモミジ		ヒサカキ			
キツタ		マタタビ			
サネカズラ		マユミ			
スイカズラ		ミツバアケビ			
ソヨゴ		ムベ			
タラヨウ		ヤマザクラ			
ツタ		ヤマブキ			
ツルグミ		ヤマフジ			
テイカカズラ					
ニシキギ					
委員コメント					
<p>道路での緑化手法の中で最も身近で効果があるのは、中央分離帯である。</p> <p>騒音防止効果、防眩効果、景観の形成、温暖化防止など、緑化による効果は高いと思われる。</p> <p>植栽の方法は様々であるので、ツル性樹木、常緑の中高木、落葉広葉樹から組み合わせながら植栽をしていただきたい。</p> <p>また、選定に際しては、手入れが比較的簡単で、あまり生育旺盛ではないもの、乾燥・熱・排気ガスに耐えうるものを選定した。可能な限り四季感の演出を期待したい。</p>					

No.	31	大分類	みち	中分類	道路
小分類		ガードレール			
樹木名					
<p>アケビ キツタ サネカズラ スイカズラ ツタ ツルウメモドキ テイカカズラ ノイバラ ノダフジ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ</p>					
委員コメント					
<p>市道から高速道路に至るまで、ガードレールのない道路はない。しかし、これまでにガードレールでの緑化は積極的に取り組まれてこなかった。</p> <p>安全対策を考慮した上で、ガードレールにツル性樹木を這わせる事により、バリアとしての視覚的な相乗効果も期待したい。</p>					

No.	32	大分類	みち	中分類	道路
小分類	フェンス				
樹木名					
アケビ キツタ サネカズラ スイカズラ ツタ ツルウメモドキ ツルグミ テイカカズラ ノイバラ ノダフジ ノブドウ マタタビ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
<p>フェンスは人間の進入を防ぎ、安全性を向上させるために設置されている。こうした規制的な構造物をよりソフトなイメージで演出するためにも、緑化の必要性がある。</p> <p>安全対策を考慮した上で、フェンスにツル性樹木を這わせることにより、バリアとしての視覚的な相乗効果も期待したい。</p> <p>しかし、緑化自体がバリアになることがないように考慮した。</p>					

No.	33	大分類	みち	中分類	道路
小分類		土羽法面			
樹木名					
アオキ	クサギ	テイカカズラ	ムシカリ		
アオハダ	クワ	ナツグミ	ヤシャブシ		
アカマツ	コシアブラ	ナツツバキ	ヤツデ		
アカメガシワ	コナラ	ニガイチゴ	ヤブニツケイ		
アズキナシ	コマユミ	ニシキギ	ヤマナラシ		
アブラチャン	ゴンズイ	ネズ	ヤマハゼ		
イヌツゲ	サカキ	ネムノキ	ヤマハンノキ		
イロハモミジ	サネカズラ	ノリウツギ	ユズリハ		
ウツギ	サワグルミ	ハリギリ	リョウブ		
ウメモドキ	シロモジ	ハンノキ			
ウリカエデ	タカノツメ	ヒサカキ			
エゴノキ	タラノキ	ヒメコウゾ			
カワヤナギ	ツクバネ	ヒメヤシャブシ			
ガンピ	ツクバネガシ	マユミ			
キブシ	ツリバナ	ミヤコザサ			
委員コメント					
<p>中央自動車道や国道19号、国道248号のみならず、昨今整備される幹線道路は高規格な設計となっており、カーブを緩やかにして建設される。それ故、土羽法面には、痩せた土地でも育ちやすい樹木と密集して生える樹木を選定したい。</p> <p>また、将来的には肥培木(肥料木)となる樹木であることも評価した。</p> <p>できる限り幼木の植栽により山林の自然的回復を望みたい。中木・高木の植栽も可能だが、風災害による倒木が懸念される。</p>					

No.	34	大分類	みち	中分類	道路
小分類	ブロック積み法面				
樹木名					
<p>アケビ キツタ サネカズラ スイカズラ ツタ テイカカズラ ノイバラ ノダフジ ノブドウ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ</p>					
委員コメント					
<p>郊外の丘陵地を切り拓かれた道路や、大規模団地内の住宅地内の道路では、法面にブロック積みの処理がされており、緑化への配慮はあまりされていないのが現状である。</p> <p>こうしたブロック積み法面では、ツル性樹木植栽でコンクリートを覆う緑化により、良好な景観形成と高温化対策を兼ねる機能が期待される。根系の発達が旺盛なものを評価した。</p> <p>また、今後のブロック積み法面施工に際しては、植栽マスを同時施行することが望ましい。</p>					

No.	35	大分類	みち	中分類	道路
小分類	コンクリート壁面				
樹木名					
アケビ キツタ サネカズラ ジャケツイバラ スイカズラ ツタ テイカカズラ ノイバラ ノダフジ ノブドウ ミツバアケビ ムベ ヤマフジ					
委員コメント					
<p>斜面地に整備される道路沿いで、崩壊防止のコンクリート壁面等を想定して緑化樹木を検討した。</p> <p>根系の発達が旺盛なツル性樹木植栽でのコンクリートを覆う緑化により、良好な景観形成と高温化対策を兼ねる機能が期待される。</p>					

No.	36	大分類	みち	中分類	道路
小分類		歩道			
樹木名					
アセビ	コバノガマズミ	ヒサカキ	ヤマアジサイ		
イヌザクラ	コバノミツバツツジ	ヒメウツギ	ヤマウグイスカグラ		
イヌザンショウ	サワフタギ	ホツツジ	ヤマツツジ		
イロハモミジ	シラカシ	マユミ	ヤマブキ		
ウメモドキ	シロモジ	マンサク	リョウブ		
ウリカエデ	スノキ	マンリョウ			
ウワミズザクラ	タニウツギ	ミヤコザサ			
エドヒガン	タンナサワフタギ	ムシカリ			
ガマズミ	ツクバネウツギ	メダケ			
カマツカ	ナツツバキ	モチツツジ			
キツタ	ナツハゼ	ヤツデ			
キリ	ナワシロイチゴ	ヤブコウジ			
クサイチゴ	ニシキギ	ヤブツバキ			
クサボケ	ニワトコ	ヤブデマリ			
コツクバネウツギ	ヒイラギ	ヤブムラサキ			
委員コメント					
<p>市民が通勤や通学に際して歩く道での植栽を念頭に、あえて街路樹とは分けて検討した。</p> <p>低木の植栽が望まれるが、低木でも夜間歩行の時、足下の暗さが怖い事がある。街路燈等の整備を考慮した上での植栽が望まれる。ツル性樹木によるグラウンドカバー的路側緑化もあり得る。</p> <p>市民が四季感を楽しめる樹木であることも評価した。</p> <p>また、歩道部分にまで肥大化して交通の妨げにならないよう、植栽後の剪定・管理はどの樹木でも必要である。</p>					

No.	37	大分類	みち	中分類	緑道
小分類		緑道			
樹木名					
アオキ	エノキ	コナラ	ツブラジイ	マルバアオダモ	
アオハダ	エビヅル	コバノガマズミ	ツリバナ	マンサク	
アカガシ	オニグルミ	コバノミツバツツジ	テイカカズラ	マンリョウ	
アカマツ	ガクウツギ	コマユミ	ナツグミ	ミツバアケビ	
アケビ	カジノキ	コムラサキ	ナツツバキ	ミヤコザサ	
アズキナシ	ガマズミ	ザイフリボク	ナツハゼ	ムシカリ	
アセビ	カマツカ	サカキ	ナワシロイチゴ	ムベ	
アブラチャン	カラスザンショウ	サワグルミ	ニシキギ	メダケ	
アベマキ	カワヤナギ	サワフタギ	ニワトコ	モチツツジ	
アラカシ	ガンピ	サンショウ	ネジキ	モミジイチゴ	
イヌガヤ	キブシ	シャシャンボ	ネズミモチ	ヤツデ	
イヌザクラ	キリ	シラカシ	ネムノキ	ヤブコウジ	
イヌザンショウ	クコ	シロモジ	ノリウツギ	ヤブツバキ	
イヌツゲ	クサイチゴ	スノキ	バイカツツジ	ヤブデマリ	
イボタノキ	クサボケ	ズミ	ハナイカタ	ヤブムラサキ	
イロハモミジ	クマイチゴ	ソヨゴ	ハリギリ	ヤマウグイスカグラ	
ウスノキ	クリ	タカノツメ	ハンノキ	ヤマウコギ	
ウツギ	クロモジ	タニウツギ	ヒイラギ	ヤマザクラ	
ウメモドキ	ケヤキ	タラノキ	ヒメウツギ	ヤマツツジ	
ウラジロガシ	ケンポナシ	タラヨウ	ヒメコウゾ	ヤマナラシ	
ウラジロノキ	コアジサイ	タンナサワフタギ	ビロードイチゴ	ヤマハゼ	
ウリカエデ	コシアブラ	ツクバネウツギ	ホオノキ	ヤマブキ	
ウワミズザクラ	コジキイチゴ	ツクバネガシ	ホツツジ	ユズリハ	
エドヒガン	コツクバネウツギ	ツタ	マユミ	リョウブ	
委員コメント					
<p>遊歩道や散策路などは、市民の憩いの場としてふさわしい空間づくりが必要である。</p> <p>植栽時には、花の美しさや四季感の演出を勘案し、併せて小鳥や小動物の生息などへの配慮も必要であろう。</p> <p>高木、中木、低木を組み合わせた立体的な施工が期待される。</p>					

No.	38	大分類	公共施設	中分類	—
小分類		西日対策壁面			
樹木名					
アオハダ	キツタ	テイカカズラ			
アカガシ	キリ	ノブドウ			
アケビ	ケヤキ	ハリギリ			
アズキナシ	コシアブラ	ホオノキ			
アベマキ	コナラ	ミツバアケビ			
アラカシ	ザイフリボク	ムベ			
イヌザクラ	サカキ	ヤシャブシ			
イロハモミジ	サンカクヅル	ヤマザクラ			
ウラジロガシ	シラカシ	ヤマハゼ			
ウリカエデ	シロモジ	ユズリハ			
ウワミズザクラ	ソヨゴ				
エドヒガン	タカノツメ				
エノキ	ツタ				
エビヅル	ツブラジイ				
オニグルミ	ツルウメモドキ				
委員コメント					
<p>従前の公共施設は、巨大で無機的な建築物が多く、壁面への吸熱も大量であると考えられる。学校を始めとした公共施設が、快適なパブリックスペースの提供を可能とするため、西日による高温化防止対策に適した樹木を検討した。</p> <p>①ツル性樹木によって壁面緑化を行う、②高木による緑陰をつくり出す(落葉樹が望ましい)、③壁面緑化と中高木を組み合わせるというパターンが考えられ、土地事情等を勘案しながら導入することが望ましい。</p>					

No.	39	大分類	公共施設	中分類	—
小分類		砂埃対策			
樹木名					
アカマツ ケヤキ ネズミモチ ヒイラギ ヒサカキ ミヤコザサ メダケ					
委員コメント					
<p>大規模なグラウンド等がある学校、運動施設等を念頭に、近隣への砂塵対策としての植栽を検討した。</p> <p>よって、①中高木～高木で、②葉芽の密度が高く、③集団で植栽することが可能な(もしくは群生を好む)樹木を評価して選定した。</p> <p>実際の植栽時には、防風効果を配慮し、中木と高木混植が望ましい。</p>					

No.	40	大分類	公共施設	中分類	—
小分類		中庭対策			
樹木名					
アオキ	クサボケ	ツクバネ	マルバアオダモ		
アカマツ	クマイチゴ	ツクバネウツギ	マンサク		
アケビ	クリ	ツリバナ	マンリョウ		
アセビ	クロモジ	ツルウメモドキ	ミツバアケビ		
アブラチャン	ケヤキ	ナツグミ	ミヤマフユイチゴ		
イヌザンショウ	コアジサイ	ナツツバキ	ムシカリ		
イヌツゲ	コツクバネウツギ	ナツハゼ	ムベ		
イボタノキ	コバノガマズミ	ナワシロイチゴ	メダケ		
イロハモミジ	コバノミツバツツジ	ニシキギ	モチツツジ		
ウスノキ	コマユミ	ニワトコ	モミジイチゴ		
ウツギ	コムラサキ	ネジキ	ヤツデ		
ウメモドキ	ザイフリボク	ネズミモチ	ヤブコウジ		
ウリカエデ	サカキ	ネムノキ	ヤブツバキ		
ウワミズザクラ	サネカズラ	ノダフジ	ヤブデマリ		
エドヒガン	サワフタギ	ノリウツギ	ヤブニッケイ		
エノキ	シャシャンボ	バイカツツジ	ヤブムラサキ		
ガクウツギ	シラカシ	ハナイカダ	ヤマアジサイ		
ガマズミ	シロモジ	ハンノキ	ヤマウグイスカグラ		
カマツカ	スイカズラ	ヒイラギ	ヤマウコギ		
カワヤナギ	スノキ	ヒメウツギ	ヤマザクラ		
ガンピ	ソヨゴ	ヒメコウゾ	ヤマツツジ		
キツタ	タニウツギ	フユイチゴ	ヤマブキ		
キリ	タラノキ	ホオノキ	ヤマフジ		
クコ	タラヨウ	ホツツジ	ユズリハ		
クサイチゴ	タンナサワフタギ	マユミ	リョウブ		
委員コメント					
<p>公共施設の中庭は、日陰になりやすい。日照時間が短くても生育に大きな影響がないものが望ましい場合もある。</p> <p>しかし、限られた空間に植栽するものであるから、施設が持つ雰囲気や中庭の必要性(機能)を考慮しながら、景観の良さ、季節感の演出が可能な樹種も評価した。</p> <p>また、陽樹陰樹の混植を心がけたい。</p>					

No.	41	大分類	公共施設	中分類	—																														
小分類		シンボルツリー																																	
樹木名																																			
<table> <tr><td>アオハダ</td><td>シロモジ</td></tr> <tr><td>アカマツ</td><td>ズミ</td></tr> <tr><td>アベマキ</td><td>ソヨゴ</td></tr> <tr><td>アラカシ</td><td>ツブラジイ</td></tr> <tr><td>イロハモミジ</td><td>ナツツバキ</td></tr> <tr><td>ウラジロガシ</td><td>ハリギリ</td></tr> <tr><td>ウワミズザクラ</td><td>ホオノキ</td></tr> <tr><td>エドヒガン</td><td>ヤマザクラ</td></tr> <tr><td>エノキ</td><td>ユズリハ</td></tr> <tr><td>オニグルミ</td><td>リョウブ</td></tr> <tr><td>クロモジ</td><td></td></tr> <tr><td>ケヤキ</td><td></td></tr> <tr><td>コナラ</td><td></td></tr> <tr><td>サワグルミ</td><td></td></tr> <tr><td>シラカシ</td><td></td></tr> </table>						アオハダ	シロモジ	アカマツ	ズミ	アベマキ	ソヨゴ	アラカシ	ツブラジイ	イロハモミジ	ナツツバキ	ウラジロガシ	ハリギリ	ウワミズザクラ	ホオノキ	エドヒガン	ヤマザクラ	エノキ	ユズリハ	オニグルミ	リョウブ	クロモジ		ケヤキ		コナラ		サワグルミ		シラカシ	
アオハダ	シロモジ																																		
アカマツ	ズミ																																		
アベマキ	ソヨゴ																																		
アラカシ	ツブラジイ																																		
イロハモミジ	ナツツバキ																																		
ウラジロガシ	ハリギリ																																		
ウワミズザクラ	ホオノキ																																		
エドヒガン	ヤマザクラ																																		
エノキ	ユズリハ																																		
オニグルミ	リョウブ																																		
クロモジ																																			
ケヤキ																																			
コナラ																																			
サワグルミ																																			
シラカシ																																			
委員コメント																																			
<p>文化施設や教育施設を念頭に、施設が持つ雰囲気や機能性を活かし、シンボルとなり得る樹木を検討した。</p> <p>中高木から高木となるもので、樹形・木肌の美しさを重視した。また、花の美しさも評価に入れた。</p>																																			

No.	42	大分類	公共施設	中分類	—
小分類	その他				
樹木名					
<p>コバノミツバツツジ テイカカズラ ノブドウ ヤマウグイスカグラ</p>					
委員コメント					
<p>公共施設において、デザイン上のアクセントとなるフェンスやテラスは無機的になりがちである。</p> <p>ツル性の植物や花が咲いた様子が美しい樹木を配置することで、施設の雰囲気も大幅に変わることだろう。</p> <p>なお、植栽マスやプランターでの植栽が可能な樹種も含めた。</p>					

No.	43	大分類	山林内土砂崩れ	中分類	—
小分類		崩壊地復旧			
樹木名					
アオハダ	コシアブラ	ハンノキ	リョウブ		
アカマツ	コナラ	ヒイラギ			
アカメガシワ	ゴンズイ	ヒメヤシャブシ			
アズキナシ	シャシャンボ	マンサク			
アセビ	タカノツメ	ミヤコザサ			
アブラチャン	タラノキ	メダケ			
アベマキ	タンナサワフタギ	モチツツジ			
イロハモミジ	ツクバネ	ヤシャブシ			
ウリカエデ	ナツハゼ	ヤブニッケイ			
ウワミズザクラ	ニガイチゴ	ヤマウコギ			
エドヒガン	ヌルデ	ヤマウルシ			
キブシ	ネジキ	ヤマザクラ			
クコ	ネズ	ヤマナラシ			
クサギ	ネムノキ	ヤマハゼ			
クワ	ハリギリ	ヤマハンノキ			
委員コメント					
<p>山林等での崩壊地は表土が流失してしまっていると考えられるため、早急な山林回復が期待できる樹種であることが肝要である。</p> <p>つまり、痩せた土地でも育ちやすく、根の発達が良いものを中心に選定した。</p> <p>また、将来的には肥培木(肥料木)となるものを積極的に選定した。</p>					

No.	44	大分類	鉄塔・アンテナ	中分類	—
小分類		鉄塔・アンテナ			
樹木名					
アケビ		ミツバアケビ			
エビヅル		ムベ			
キヅタ		ヤマフジ			
サネカズラ		ヤマブドウ			
サンカクヅル					
ジャケツイバラ					
スイカズラ					
ツタ					
ツルウメモドキ					
ツルグミ					
テイカカズラ					
ノイバラ					
ノダフジ					
ノブドウ					
マタタビ					
委員コメント					
<p>鉄塔やアンテナなどの巨大構造物は、多くは丘陵地や山間部にあり、これまで緑化の必要性が問われてこなかった。しかし、修景や自然保護の観点から、安全性に考慮した上でフェンス等へのツル性樹木の植栽が望まれる。また、可能であれば敷地内への高木の植樹も検討すべきである。</p> <p>危険を明記した上で、トゲのあるツル性樹木を効果的に植栽するのも一考である。</p> <p>立ち入り禁止区域を明示した看板類の設置方法には検討が必要になろう。</p>					